

国保における新型コロナウイルス感染症の影響について

令和4年度
第2回香川県国民健康保険運営協議会
参考資料2

1. COVID-19、COVID-19疑い、インフルエンザが傷病名に含まれる患者数について

年度		R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)
COVID-19 (患者数)	入院	98	497	292
	外来	175	3,067	8,028
COVID-19疑い (患者数)	入院	2,108	7,157	10,872
	外来	6,208	18,867	31,516
インフルエンザ(患者数)		241	145	136

- COVID-19及びCOVID-19疑いが傷病名に含まれる患者数は、増加傾向にあり、特に、COVID-19患者の外来での診療の割合が増えている。
- 市中感染を主な原因とするインフルエンザはCOVID-19のアウトブレイク以降は減少傾向にある。

※ 左表については、傷病名にCOVID-19等が含まれるものを抽出したものである。
※ R4年度は、4～6月のレセプトを分析したものであり、12月分(4倍換算)した値である。

2. コロナ感染症を主病名とした患者数、医療費と財政への影響について

年度		R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)
COVID-19 (患者数)	入院	58	355	172
	外来	82	1,150	3,308
COVID-19 (1人当たり医療費)	入院	933,865	759,500	469,029
	外来	33,278	31,310	30,990
COVID-19 (医療費:千円)	入院	54,164	269,623	80,673
	外来	2,728	36,007	102,514
被保険者数に占める COVID-19患者数		0.07%	0.78%	1.89%
医療費総額に占める COVID-19の医療費		0.06%	0.34%	0.21%

- COVID-19を主病名とした患者数は、増加傾向にあり、特に、外来での診療の割合が増えている。
- 1人当たり医療費(費用)については、入院について、費用が低減している。また、外来については、概ね同額であるが、やや低減傾向にある。
- 医療費総額(入院+外来)については、R2は57百万円、R3は306百万円と増加しているが、R4は183百万円と減少する見込み。外来・入院別で見ると、R4には、外来医療費が入院医療費を上回る見込み。
- 患者数、医療費ともに、全体の被保険者・医療費において占める割合は低く、特にR2における感染症拡大による受診控え(参考)があり、国保における新型コロナウイルス感染症の影響は小さいと考えられるが、引き続き注視していく必要がある。

※ 左表については、主病名にCOVID-19等が含まれるものを抽出したものである。
※ R4年度は、4～6月のレセプトを分析したものであり、12月分(4倍換算)した推計である。

(参考) 国保における診療種類別ごとの受診率について

種別	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)
全体	1,166.05	1,181.73	1,107.77	1,166.33
入院	31.99	32.04	30.61	30.96
外来	929.39	935.93	879.94	923.64
歯科	204.66	213.76	197.22	211.73

(参考)

- 受診率は、被保険者100人あたりのレセプト枚数であり、どの程度医療機関を受診したか分かる指標である。
- H30以降の推移では、R2はすべての診療種類別で大きく落ち込んでいる。
- R3以降は、H30の水準に戻っている。